

## 英単語学習支援サイトの構築と運用

### Construction and Operation of the Support Site for English Word Learning

新垣憂奈, 角田正豊

Yuna ARAKAKI, Masatoyo SUMIDA

沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科

Department of Media Information Engineering, Okinawa National Collage of Technology

Email: mi091302@edu.okinawa-ct.ac.jp

**あらまし**：沖縄工業高等専門学校(以下沖縄高専)の英単語の学習では、「英単語が覚えづらい、記憶が定着しにくい、楽しくない」という問題があることをアンケートにより明らかにした。この問題を解決するために、英単語学習支援サイトを Moodle を用いて構築した。本サイトは、記憶の度合いに沿った3段階の模擬テストを設けることにより、単語を覚えやすくした。最後の模擬テストで、例文を差し替えた問題を設けることにより、英単語を確実に覚えるようにした。本文や音声などを Web 上にひとつにまとめ、使いやすくした。また、本文に画像を挿入し、意欲向上を図った。サイトを実際に2年生37名に使用してもらいアンケートを実施し、本サイトが英単語学習に有用であることが示された。

**キーワード**：Moodle, 英単語, e-Learning

#### 1. はじめに

沖縄高専2年次の英語科目では、「速読英単語 入門編[改訂第二版]」(以下速読英単語)<sup>(1)</sup>という教材が用いられている。この教材は、1つの短い物語で1つの章が構成されており、その話の中に、この章で覚えるべき重要英単語がピックアップされている。英語の授業内では、この速読英単語の本文と重要英単語を教員や付属のCD音源と読み合わせるなどといった学習法で授業が進められている。そして、各章での英単語の小テストも行われている。

この沖縄高専の英語学習について、沖縄高専2年2組39名を対象に、実用英語の授業法に関するアンケートを実施した。

「今の授業での学習法で、英単語はどのくらいの期間覚えていられるか」という質問には9割の学生が1日～1週間と答えており、現在の「本文と英単語を教員またはCDと読み合わせる」という授業法(以下現在の学習法)では、記憶を定着させることができていないと考えられる。

「今の授業での学習法は英単語を覚えやすいか」という質問には7割の学生がそう思わないと答えており、現在の学習法では、英単語を暗記することが困難であると考えられる。

「今の授業での学習法は楽しいか」という質問には、6割の学生があまりそう思わないと答えており、現在の学習法では意欲的に学習を行えないものであると考えられる。

「テストなどで覚えたと思っていた単語が答えられなかったことがあるか」という質問には、8割の学生があると答えており、現在の学習法では学生自身が自分の覚えた単語とろ覚えの単語の区別が頭の中でつきづらいと考えられる。

以上のアンケート結果をまとめると、現在の英語の授業での学習法では、英単語を「覚えづらい」「記

憶が定着できない」「楽しくない」という3つの問題点が明らかになった。よって、本研究の目的を、その3つの問題点を改善するための「覚えやすく」「確実に暗記」ができ「意欲向上」が実現できる英単語学習支援サイトの構築と運用とする。

#### 2. 研究手法

本サイトは、Moodleの、ページ、ファイル、小テスト、用語集、以上のモジュールを使用して、教材中の本文、本文の音源、単語帳、重要英単語模擬テストの機能を備えた。

##### 2.1 目的達成のための機能

上述の3つの目的を達成するための機能について、一つずつ詳しく説明していく。

「覚えやすく」という目的を達成するために、3ステップで難易度順になっている模擬テストを取り入れた。どのステップも、問題の形式はその章の重要英単語を例文中の括弧内に当てはめる仕様になっている。まずStep1では、選択問題という形式にし、難易度を下げ、英単語の字面とその意味をなんとなく結び付けられるようにすることを狙った。次のStep2は穴埋め問題になっており、Step1で英単語の意味を覚え「読む」という力を付けたので、このStep2ではスペリングを確実に記憶してもらい、「書く」力も付けてもらうことを狙った。最後のStep3では、例文を差し替えた穴埋め問題になっており、Step1とStep2で英単語の意味とスペルを覚えた上で、別の例文になっても英単語を正しく使えるようにするという狙いがある。また、小テストで点数を取るために、英単語の意味ではなくフレーズを丸覚えするという力技を使う学生も少なからずいるということで、そのような行為の防止の狙いもある。

「確実に暗記」という目的を達成するために、上

述にあるようにステップを3つ用意することで、1つの英単語を様々な方面から攻略してもらう。また、Step3で例文差し替えの問題を解いてもらうことで、自分の力で英単語を応用的に使うことにより、記憶を定着させるという狙いがある。

「意欲向上」という目的を達成するためには、本サイトのみで現在の学習法よりも手軽に勉強ができるように、本文やそれを音読したCD音源などのすべてのコンテンツをwebに使いやすくひとまとめにした。また、本文に関連する画像を挿入するなどし、積極的に画像を用いた。

### 3. 検証

沖縄高専の学生37名に、作成したサイトを20分使用してもらい、アンケートを実施した。

まず、「覚えやすく」という目的についてのアンケート結果を述べる。「3ステップの模擬テストを通して記憶が高まったと思うか」という質問に対しては、9割の学生が肯定的な意見を示していた。この結果から、本研究で提案した3ステップの異なる手法の模擬テストが英単語の暗記に有効な手法であると言え、本研究の目的の一つである「覚えやすく」が達成できたと考えられる。

次に、「確実に暗記」という目的についてのアンケート結果について述べる。「うる覚えの単語と確実に覚えた単語の区別が自分の中でつくようになったか」という質問に対して、8割の学生が肯定的な意見を示していた。これは、デジタル上に記録に残る模擬テストを行うことにより、回答画面で学生自身の解けた問題と間違えた問題を確認できるようになったことで、アナログでの自学自習で実現することが困難だった覚えた単語とうる覚えの単語を自身で把握できるようになったからではないかと考えられる。また「単語をうる覚えでなく確実に記憶できるようになったか」という質問に対しても、8割の学生が肯定的な意見を示していた。これは、同じ単語を3ステップ通して学習することで、反復練習になり確実に記憶できるようになったのではないかと考えられる。また、ただ単に3ステップ学習するのではなく、選択問題、穴埋め問題、例文差し替え穴埋め問題という様々な切り口で一つの単語を学習していくことにより、より記憶を確実なものにできたのではないかと考えられる。よって、やはり本研究で提案した3ステップの模擬テストは英単語の暗記に有効であると考えられる。これらの結果から、本研究の目的の一つである「確実に暗記」が達成できたと考えられる。

最後に、「意欲向上」という目的についてのアンケート結果について述べる。「教科書で学習するのと本サイトで学習するのとでは、どちらが効率的か」という質問に対しては、8割の学生が本サイトと答えていた。また「教科書で学習するのと本サイトで学習するのとでは、どちらが意欲が出るか」という質問に対しては、7割の学生が本サイトと答えてい

た。これらの結果から、本研究の目的の一つである「意欲向上」が達成できたと考えられる。

以上のアンケート結果から、本サイトが「覚えやすく」「確実に暗記」「意欲向上」の3つの目的を達成することのできる英単語学習支援サイトであると言える。

### 4. おわりに

アンケートから判明した沖縄高専の英単語学習における「覚えづらい」「記憶が持続できない」「楽しくない」という3つの問題を解決するため、Moodleを用いた英単語学習支援サイトを構築した。難易度順になった3ステップのテストにより「覚えやすく」、例文を差し替えることにより「確実に暗記」、マルチメディア（英文、音声、画像、辞書）の採用により「意欲向上」の実現を図った。構築したサイトを沖縄高専の学生37名に使用してもらった。アンケートでは、「覚えやすい」、「確実に暗記」、「意欲向上」の3つの目的に対して、8割以上の学生が肯定的な意見を示した。構築した英単語学習支援サイトが、沖縄高専の英単語学習の問題点を解決できる一つの有用な手法であることが示された。

#### 謝辞

本研究を進めるにあたり、サイト試験運用とアンケートにご協力頂いた名嘉山リサ准教授、並びに2年2組の皆様、その他諸先生方に感謝します。

#### 参考文献

- (1) 風早寛：“速読英単語 入門編[改訂第二版]”：Z会(2010)